

2018/1/1

(ブログ)

新年あけましておめでとうございます。

今年も、みなさん、お元気にお暮しくください。

うちのお店にも来てくださいね。

ところで、今日のお話は、

「どうしようもないんです。ほんとに」です。

漢字等 安以宇衣於
阿伊宇江於
平仮名 あいうえお
片仮名 アイウエオ

ボスはいつも助けてくれます。

とても助かります。それでついつい甘えてしまいます。

そのボスが、大みそかの日にとうとう大爆発してしまいました。

「ざけんじゃねえ。俺はお前らの小遣いじゃねえんだ。いつまで、お前らのプライベート・マターばかりやらせるんだ？いつまでたっても、新店舗のリサーチ、ビジネス・マターが出来ねえじゃねえか。しかもおまけに全部タダ。ノーフィーだ。いい加減にせんかい、ポケナスのアンポンタンどもが！！」

これまでも、ボスは、自分が頼みごとをもっていくたびに何度か怒りだしそうになったのですが、そのたびに、話を明後日の方に切り替えたり、褒めちぎったりしてごまかしてきました。

ボスはどちらかというと“豚もおだてりゃ木に上る”“そこ掘れ、ワンワン”タイプなので。

確かに、HPの作成に始まって、マムの来日の手続き、親戚の住まい探しとその保証人、悪い人からのお金の取返し、名刺づくり、それに昨日お願いした、同郷の夫婦への新しい土地での生活を始めるお金の貸付と、そこに行く夜行バスの手配なんか全部。

ほかにも、日々役所や郵便局や銀行から来る書類の「どこから来たナンの書類なのか？」の

判別やその手続きのお願いなんか、山ほど、たくさんお願いしています。
悪いな、ごめんなさい、とは思いますが、私たちには、日本語はむつかしすぎるのです。
カタカナ、ひらがなを読むのが精いっぱい、漢字が全く読めません。
そういえば以前、なんで日本には3通りの書き方があるのか？「メンドくっさいのに」と訊いたことがありますが、ボスは、
「お金も時間もない貧しい人に早く読み書きを覚えてもらうためにカタカナとひらがなを昔の人が漢字の後に作ったんだ。昔流の公平、平等の精神から来ているんだ、と俺は思っている」と言っていましたっけ。
それはさておき、話を元に戻しましょう。
漢字が読めないというお話の続きです。
ところで、それに加えて、日本の人はほとんど英語を喋りません。中学で3年もの長い間勉強しているのに、なぜしゃべらないのかよくわかりません。教育レベルのあまり高くないネパールでも英語をしゃべる人が結構いるのに。
だから日本に行っても大丈夫だろうという感覚で来日した息子のジャッティンが再びネパールに帰ることにしたのも、中学校の友達が全然英語を話せなかったからです。話をしようとするとやんわりと逃げられるし、少し深い話をしたいと思っても、出来なかったからです。更に日本の手続きや仕組みのその書類はとても複雑で難しいのです。私たちには。
確かに、高いお金を払えばある程度は、何とかできます。
それで、税理士さんや不動産屋さんをお願いして、その人たちの書類に、全く何が書いてあるかも分からず、「めくらばん」を押さされて、ボラれたり、騙されてしまったりしたのです。
なので、それをタダで全部やってくれるボスは大助かりだったのです。
「豚」だとも「ワンワン」だとも思ったことは一度もありません。
だから今、ボスに放り出されると困るんです。もうこのやり方に慣れてしまった自分たちには、あしたからどうしていいかわからなくなるんです。
ボス、ごめんなさい。でも怒らないでください。「おねがいします」
今の自分たちにはどうしようもないんです。ほんとに。

Today`s article is too difficult to translate to in English for my ability now, Then I`ll do it later.

For foreigners, I apologize, And If you allow it to me, I have big thanks.

本日の英訳はむつかしいので、後日できた折にアップします。外国の方には、ご容赦いただけるとありがたく思います。